

ベトナム語におけるうつ病評価のための音声バイオマーカーの開発と検証に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	承認後 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究課題	ベトナム語におけるうつ病評価のための音声バイオマーカーの開発と検証
研究の概要	うつ病は世界的な主要な健康課題ですが、ベトナムのような低・中所得国では、資源が限られていることや、主観的で偏見を抱きやすい診断方法に依存しているため、依然として十分に認知されていません。従来の診断アプローチは広く使用されていますが、特に文化的に敏感な環境で、スティグマや報告バイアスに対して脆弱な主観的な自己報告に大きく依存しています。音声分析は、抑うつ症状に関連する音響マーカーを検出することにより、客観的かつスケーラブルな効果的な代替手段を提供します。しかし、ベトナム語の発話におけるうつ病の音響特性はまだ十分に調査されておらず、文化的に適応した音声ベースのスクリーニングツール開発の必要性が浮き彫りになっています。 研究は横断的研究で、ベトナム・ホーチミン市の大学および病院で行われます。研究参加資格は、18 歳以上のベトナム国民で、ベトナム語を母国語とする方です。現在妊娠中または授乳中の場合、インフォームドコンセントを提供できない場合、または参加を拒否する個人は除外されます。 また病院では、重度の内科的または外科的疾患、精神病症状、強迫性障害、不安障害、双極性障害、統合失調症、またはコミュニケーションや理解に影響を与えるその他の精神医学的または認知的障害の診断が除外されます。 参加者は研究内容の説明を受け、書面によるインフォームドコンセントを提供された後、自記式のベックうつ病検査を完成させて、うつ病の状態を評価します。その後、17 の標準化されたフレーズを読み上げて音声録音を提供します。 データ処理は、(1) 音声ファイルの前処理、(2) 特徴量の抽出、(3) 特徴量の選択、(4) モデルの作成と評価の 4 つの主要なフェーズに従います。モデルのパフォーマンスは、ROC 曲線下面積 (AUC)、精度、感度、特異度などの指標を使用して評価されます。
研究組織	1. LE TRUONG VINH PHUC 神奈川県立医療福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 研究代表者 2. 徳野 慎一 神奈川県立医療福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 3. 渡邊 亮 神奈川県立医療福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科
個人情報の取扱い	この調査では、名前や住所などの個人を特定できる情報は収集しません。参加者は、性別、生年月日、教育レベル、居住地、メンタルヘルスの履歴など、一般的な人口統計データを提供します。 各参加者には、機密性を確保するために一意のスタディ ID が割り当てられます。この ID は、個々の身元を明らかにすることなくデータソースを安全に照合するために、すべての学習教材と音声録音で使用されます。 音声録音やアンケートへの回答を含むすべてのデータは安全に保管され、許可された研究担当者のみがアクセスできます。録音データには個人情報含まれず、暗号化とパスワードで保護されたシステムによって保護されます。 データ分析は、セキュリティを維持するために、アクセスが制限されたエリ

	アで行われます。 研究チームの指定されたメンバーのみがデータを取り扱い、分析します。監督は、倫理基準とデータ保護ポリシーが支持されていることを確認するために、学術指導教官と機関当局によって提供されます。 収集されたすべての情報は、研究目的にのみ使用されます。政府当局は、法的に義務付けられている場合にのみ、データにアクセスできます。
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 博士課程 LE TRUONG VINH PHUC
TEL：044-589-8100（代表）